



## 自民党総裁選の狂騒と野党共通政策の確認

9月3日に、菅首相が月末に行われる自民党総裁選挙への不出馬を表明しました。昨年9月に就任してほぼ1年。この間に、猛威を振るうコロナに対して、GoToキャンペーンやオリンピック・パラリンピックの強行などんでもないことを行い、ワクチン接種以外には「無策」・「後手」などと言われ続けたように、科学的で有効な手立てをしてこなかった首相の退陣は当然ではあります。第5波の感染者増はひとまず減少しているように見える今、腰を据えて将来を見ての対策にこそ取り組むべきでしょう。

ところが、自民党は、党内事案である総裁選にうつつをぬかし、テレビや新聞など大手マスコミを巻き込んだ狂騒状態となっています。本来であれば、この9年ほどのアベ・スガ政治をはっきりと総括しなければならないのに、そこはうやむや（候補者によっては継承という人さえいる）にし、世論受けのする項目を見つけ出しては、大同小異の範囲を出ない意見を、連日垂れ流しています。

一方で、野党が一致して要求している臨時国会の開催については、憲法の規定を無視して拒み続けています。コロナ禍対策については衆知を結集する必要があるし、場合によっては予算措置や法律整備も必要になってきます。衆議院議員の任期切れが迫っている中で、日程は窮屈さを増しています。自民党の新総裁 → 臨時国会での新首相選出という流れの「事前運動」としてのメディアへの露出の機会と与論の誘導をうまく使って、ぼろの出ないうちに自民党に票を集める総選挙戦術であるとも思えます。

別項に示したように、9月8日、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は立憲民主党・日本共産党・社民党・れいわ新選組の野党4党と共通政策の確認を行いました。この中では、アベ・スガ政権において、ないがしろにされてきた憲法に基づく政治の回復が第1番に掲げられています。2015年9月の安保法制の強行採決以来積み重ねられてきた共闘運動の成果です。そのほかの5つの項目（詳細は割愛：ホームページを参照）についても、国民の命とくらしを守る視点や、新しい社会の在り方を目指すもので、時代に合ったものと思います。（当然のように）ほとんどテレビや新聞では報じられませんが、ぜひともこの方向で、総選挙を戦い、野党の共闘で勝利していくことが大切です。（代田2丁目・伊東 宏）

## 衆議院総選挙における野党共通政策の提言 —— 命を守るために政治の転換を ——

2021年9月8日 安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

<https://shiminrengo.com/archives/4336>

新型コロナウイルスの感染の急拡大の中で、自公政権の統治能力の喪失は明らかとなっている。政策の破綻は、安倍、菅政権の9年間で情報を隠蔽し、理性的な対話を拒絶してきたことの帰結である。この秋に行われる衆議院総選挙で野党協力を広げ、自公政権を倒し、新しい政治を実現することは、日本の世の中に道理と正義を回復するとともに、市民の命を守るために不可欠である。

市民連合は、野党各党に次の諸政策を共有して戦い、下記の政策を実行する政権の実現をめざすことを求める。

### 1 憲法に基づく政治の回復

- ・安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する。
- ・平和憲法に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。
- ・核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する。
- ・地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する。

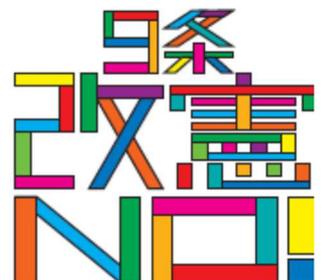
### 2 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化

### 3 格差と貧困を是正する

### 4 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行

### 5 ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現

### 6 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する



## 俳句の力とメッセージに心をつかまれ

「戦火のホトトギス 17文字に託した若き将兵の戦争」というテレビ番組（NHK ETV 初回放送日：2021年8月21日）を見ました。

「ホトトギス」という俳句雑誌については学校でも教わりましたが、明治から今も続いている124年のうち、休刊したのは昭和20年6月から9月までのわずか4か月のみだったと知りました。

戦争中も、戦地から軍事秘密で伏字にされた軍艦や基地などから、軍事郵便で投句がたくさん寄せられていました。“存問”というのだそうですが、「生きてるぞ!」「どうしてる?」と俳句仲間に安否を問い、呼び交わす交流の場になっていたようです。

昭和19年から20年にかけては傷ついて帰され、療養生活を送り(傷病という)ながら詠んだ句がたくさん掲載されました。まだ戦地に送られる若い戦士たち。仲間を想い、家族を想う俳句。戦地に行き役目を果たそうと何度も向かった医師。五・七・五の短い言葉から発せられる心のうちが、響いて届きます。その若者たちの多くは、南方から帰らなかったことでしょう。(代田1丁目・岩瀬 薫)

## いまさら・・・いや、いまこそ「パンケーキの毒見」を

8月に映画「パンケーキを毒見する」を見ました。感想を書くことになっていたのですが、菅さんの政権投げ出し!今更書いても?・・・しかし、総裁選一色のテレビや自民党内の醜い権力争いを見せつけられて、今だからこそ見るべき映画ではないかと思いなおしました。

自民党は、総裁選「劇場」のドタバタで、菅政権のコロナ大失政を覆い隠し、あわよくばこのまま総選挙になだれ込もうとしているように見えます。アベ・スガ政治とは何だったのか、私たちは、しっかり振り返ってみる必要があります。

この映画は、菅さんという政治家の、「カタチ」をニュースのフィルムや、周辺の人へのインタビューで構成したドキュメンタリー(政治バラエティー?)です。くすくす笑いつつも、哀しくなり、背筋が寒くなる・・・そんな映画です。最後のシーン、雪の中、飢えたヒツジがバタン!バタン!と倒れていく様子は、まさに今のコロナ禍の医療崩壊の状況を予言しているようでした。

9月20日時点で、新宿ピカデリー、池袋シネマ・ロサ、下高井戸シネマなどで上映中です。(その後のスケジュールは確定していないようです。)(代田2丁目・伊東 光子)

## 集 会 等 の 紹 介

\*\*以下の案内があります。

今後の状況によっては中止されることもありますので、ご注意ください。

### 公開中 映画「パンケーキを毒見する」

第99代内閣総理大臣・菅義偉の素顔に迫った政治ドキュメンタリー。

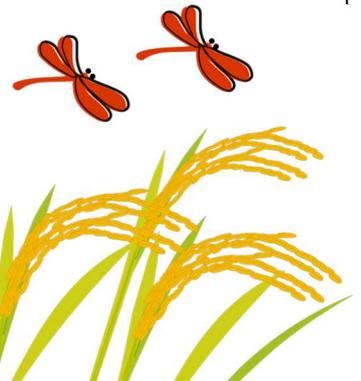
ブラックユーモアを交えながらシニカルな視点で日本政治の現在を捉えた。

監督：内山 雄人 企画：河村 光庸

11月13日(土) 13:30～ 世田谷・九条の会 16周年のつどい

講師：佐藤 慧さん(ダイアログフォーピープル/D4P所属  
フォトジャーナリスト、ライター)

場所：梅ヶ丘パークホール



## 日本国憲法(抜粋)

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～  
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++